

## 教育改善部門 事業報告

### 1. はじめに

教育改善部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

設問5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
設問6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
設問7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

### 2. 平成26年度『学生による授業評価』実施状況

#### 2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価』を実施している。本学では、『学生による授業評価』を総括的に捉えるために表1のような全学共通項目を設けている。この全学共通項目に加え、教養教育（1～2年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。また、学生の選択肢は全ての設問に共通で表2のようになっている。なお、本紀要の執筆時において、平成27年度後期の授業評価を実施中であるため、平成26年度の授業評価について報告するものとする。

表1 全学共通項目

設問1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
設問2	授業は目的達成のため計画的に進められた。
設問3	授業担当者の教え方は適切だった。
設問4	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行った。

#### 2.3 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』：  
[http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln\\_jug\\_hyoka.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html)
- [2] 長崎大学大学教育イノベーションセンター公式ページ『授業評価』：  
[http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/overview/improve\\_education/TV\\_report.html](http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/overview/improve_education/TV_report.html)

表2 学生の選択肢

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらともいえない
どちらかといえばそう思わない
そう思わない

#### 2.2 受付状況および実施状況

平成26年度の受付状況および実施状況は表3に示す通りである。なお、平成23年度より、全科目ではなく各教員の希望科目（年1科目以上）について授業評価を行っている。

表3 平成26年度の受付状況および実施状況

受付件数	1560件
実施件数	1440件
実施率(%)	92.3%

表3よりわかる通り、平成26年度においては1560件の申し込みがあり、事前の取り消しや未実施のものを除くと1440件が実施された。また、実施率（実施件数／受付件数）は92.3%であった。

### 3. 平成27年に実施した長崎大学FD・SD

当部門は、教務委員会の評価・FD教育改善専門部会と協力しながら「長崎大学FD・SD」の企画・運営を行っている。ここでは、平成27年1月から同年12月にかけて全教職員または全教員を対象に実施された集合研修について報告する。

#### 3.1 FD・SD スプリングワークショップ

##### (1)趣旨

FD・SD スプリングワークショップは、本学の教職員が、授業改善や学生支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指している。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れており、次年度からの教育改善に効果が期待される。

##### (2)対象

全教職員（非常勤を含む）

##### (3)日時

平成27年2月16日（月）16:00～18:00  
 3月16日（月）16:00～18:00  
 3月20日（金）10:00～12:00  
 13:00～15:00

##### (4)場所

文教キャンパス内

##### (5)参加数（延べ数）

56名

##### (6)プログラム

時間	内容	講師
2月16日（月）		
16:00～18:00	①基礎力テスト（PROG）報告会	松村直樹氏（株式会社リアセック）
3月16日（月）		
16:00～18:00	②モジュール・フォーラム－教員調査・学生評価の総括－	松坂誠應 理事（教学担当） 川越明日香 助教（大学教育イノベーションセンター）
3月20日（金）		
10:00～12:00	③インストラクショナルデザイナーの授業支援と授業の変化	井ノ上憲司 特任助教（長崎県立大学）

13:00～15:00	④アクティブラーニング事例報告－後期実施モジュール科目より－	村上裕人 准教授（工学研究科）、 上繁義史 准教授（ICT基盤センター）、 藤田 渉 教授（経済学部）、 當山明華 助教（大学教育イノベーションセンター）、 西田 治 准教授（教育学部）
-------------	--------------------------------	---

#### 3.2 新任教職員ガイダンス「ウェルカムFD・SD」

##### (1)趣旨

新任の教職員を対象に、長崎大学で職務を開始するにあたってのガイダンスを、例年同様2日間にわたって行った。1日目は、長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ることが目指された。2日目は、歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行い、長崎大学にかかわる歴史を知って本学への帰属意識を深めることが目指された。

##### (2)対象

平成26年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

##### 第1日 第1部「長崎大学が目指すもの」

##### (3)日時

平成27年4月2日（木）13:00～15:00

##### (4)場所

事務局第2会議室

##### (5)参加数

60名

##### (6)プログラム

時間	内容	講師
13:00～13:15	ウォームアップ	
13:15～13:20	開会の挨拶	松坂誠應 理事（教学担当）
13:20～14:20	「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」	片峰 茂 学長

14:20~ 14:30	「ガバナンス体制 及び情報管理につ いて」	河野 茂 理事 (総務担当)
14:30~ 14:50	質疑応答	
14:50~ 14:55	閉会の挨拶と翌日 の案内	橋爪真弘 教授 (熱帯医学研究 所)、 山地弘起 (大学 教育イノベーション センター)

第2日目 第Ⅱ部「長崎大学歴史散歩—150年を  
ふりかえる」

(3)日時

平成27年4月3日(金) 13:00~17:15

(4)場所

長崎大学(文教・坂本・片淵キャンパス)

(5)参加数

22名

(6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~ 13:05	開会の挨拶	松坂誠應 理事 (教学担当)
<b>文教キャンパス歴史散歩</b>		
13:15~ 14:15	三菱長崎兵器製作 所の碑	松坂誠應 理事 (教学担当)、 山地弘起 教授 (大学教育イノ ベーションセン ター)、 川越明日香 助教 (大学教育イノ ベーションセン ター)
	長崎師範学校原爆 慰霊碑	
	中部講堂	
	「若人」の像	
	環境科学部正門側 (旧教養部建物)	
	教養教育棟 A12 教 室：アクティブ・ ラーニング仕様の 教室	
14:30~ 15:35	下村脩名誉博士顕 彰記念館(薬学部)	岸川直哉 准教授 (医歯薬学総合 研究科)
	お薬の歴史資料館 (薬学部)	
休憩・バス移動		
<b>坂本キャンパス歴史散歩</b>		
14:30~ 15:35	近代医学史料展示 室(附属図書館医 学分館)	志波原智美 主査 (学術情報部)

	熱帯医学ミュージ アム(医学ミュ ージアム)	堀尾政博 教授 (熱帯医学研究 所)
	原爆医学資料展示 室(医学ミュ ージアム)	三根眞理子 客員 教授(原爆後障 害医療研究所)
休憩・バス移動		
<b>片淵キャンパス歴史散歩</b>		
16:05~ 17:10	拱橋(こまねきば し)	深浦厚之 教授 (経済学部)
	長崎高商門標	
	瓊林会館	
	赤レンガ倉庫	
	特別講演：「高商 100年と武藤文庫」	宮脇千幸 主査 (学術情報部)
武藤文庫展示室 (附属図書館経済 学部分館)		
17:10~ 17:15	閉会の挨拶	山地弘起 教授 (大学教育イノ ベーションセン ター)

3.3 教育革新シンポジウム「長崎大学共催による  
大学教育学会第37回大会基調講演・シンポジウム」

(1)趣旨

平成27年度後期より開始する第4クールの全学  
モジュール科目においては、「考える力」の育成に  
焦点をおいた更なるアクティブラーニングの展開  
が求められている。加えて、学生の学修成果を適切  
に評価し、社会に向けて説明責任を果たすとも  
にカリキュラムや各授業を改善する努力がこれ  
まで以上に求められている。

そこで本シンポジウムでは、大学教育学会との  
共催で、評論家・ジャーナリストの立花隆氏による  
「考えるとはどういうことか」と題した基調講演  
と、「学生の育ちをみる」というテーマで4名の講  
師によるパネル・ディスカッションを行った。

(2)対象

全教職員

(3)日時

平成27年6月6日(土) 14:10~17:45

(4)場所

メイン会場：中部講堂

サテライト会場：文教スカイホール（グローバル教育・学生支援棟4階）

(5)学内の参加数（延べ数）

62名

(6)プログラム

時間	内容	講師
14:10~15:30	基調講演： 「考えるとはどういうことか」	立花 隆 氏(評論家・ジャーナリスト) 司会：小笠原正明 氏(大学教育学会会長・北海道大学名誉教授)
15:30~15:45	休憩	
<b>報告とパネルディスカッション： 「学生の育ちを見る」</b> 司会：山地弘起 教授（長崎大学・大学教育イノベーションセンター） 指定討論者：深堀聡子 総括研究官（国立教育政策研究所・高等教育研究部）		
15:45~17:45	「魅力ある人で組織を埋め尽くすこと～企業における若手社員の現状と大学に期待されていること～」	深澤晶久 特任教授（実践女子大学・大学教育研究センター）
	「学修成果の可視化から見える学生像」	溝上慎一 教授（京都大学・高等教育研究開発推進センター）
	「先行実践（21世紀プログラム）の取り組みから見える学生の育ち」	丸野俊一 理事・副学長（九州大学）
	「大学での育ちをみることの意味」	早川信夫 解説委員（日本放送協会）

### 3.4 FD・SD サマールワークショップ

(1)趣旨

FD・SD サマールワークショップは、本学での教養教育や学生支援等における課題を共有し、後期からの教育改善にすぐに役立てられるよう、内容を精選して実施する集中研修である。日頃の実践を振り返り、より充実した大学教育につなげていくために、例年広く参加を呼びかけている。

(2)対象

全教職員（非常勤を含む）

(3)日時

平成27年9月14日（月）15:45-17:30

平成27年9月17日（木）10:00-12:00

平成27年9月18日（金）13:30-16:00

平成27年9月25日（金）10:30-12:00

13:30-16:00

(4)場所

事務局第5会議室（教育学部2階）

(5)参加数

93名（延べ数）

(6)プログラム

時間	内容	講師
9月14日（月）		
15:45~17:30	①モジュール・フォーラムーモジュールⅡ前期科目の総括ー	松坂誠應 理事（教学担当） 山地弘起 教授（大学教育イノベーションセンター） 若菜啓孝 教授（大学教育イノベーションセンター）
9月17日（木）		
10:00~12:00	②伝わりやすい話し方のコツ	矢野 香 助教（地域教育連携・支援センター）
9月18日（金）		
13:30~16:00	③LACS活用事例報告会	若菜啓孝 教授（大学教育イノベーションセンター） 丹羽量久 教授（ICT基盤センター） 上繁義史 准教授（ICT基盤センター） 古賀掲維 准教授（ICT基盤センター） 田中俊幸 准教授（工学研究科）

9月25日(金)		
10:30~ 12:00	④障害のある学生への合理的配慮:その義務化に向けて	ピーター・バーニック 助教(障がい学生支援室)
13:30~ 16:00	⑤学生とともに進める教育改善	「学生による教育改善のための協議会」メンバー 評価・FD教育改善専門部会委員

### 3.5 全学モジュール第4クールの授業設計支援

#### (1)趣旨

第4クールの全学モジュール科目では主に「考える力」の向上をめざした授業を準備し、さらに効果的なアクティブラーニングを進めていくことになっている。しかし、具体的にどのような「考える力」をめざすのか、またそのために適切なアクティブラーニングの方法はどのようなものかなどについて十分な情報提供がないまま来ているため、以下の内容でモジュールⅠの授業設計支援を行った。

- ① モジュール方式の確認
- ② 第4クールでの変更点
- ③ 現在の課題(意見交換)
- ④ 授業設計に役立つコンテンツ類(紹介)
- ⑤ 「考える力」に焦点をおく授業設計指針
- ⑥ 実際の授業設計へ(支援)
- ⑦ 質疑応答・まとめ

#### (2)対象

全教職員(おもに全学モジュール関係者)

#### (3)日時

- 平成27年8月18日(火) 16:00-18:00  
 平成27年8月19日(水) 10:00-12:00  
 16:00-18:00  
 平成27年8月31日(月) 16:00-18:00  
 平成27年9月1日(火) 10:00-12:00  
 平成27年9月16日(水) 11:00-13:00

#### (4)場所

事務局第5会議室(教育学部2階)

#### (5)講師

山地弘起 教授(大学教育イノベーションセンター)、若菜啓孝 教授(大学教育イノベーションセンター)

#### (6)参加数

26名

### 3.6 基礎力テスト(PROG)報告会

#### (1)趣旨

このプログラムは、本年4月に各学部1年生に実施した「基礎力テスト(PROG)」の分析結果を教職員で共有する機会である。全体傾向とともに学部毎の特徴や他大学との比較等を踏まえて、本学1年生の汎用的技能の状況と教養教育・専門教育における留意点等を整理することを目指した。

#### (2)対象

全教職員、特に各部局の教務担当者

#### (3)日時

平成27年9月28日(月) 16:00-17:15

#### (4)場所

事務局第2会議室

#### (5)講師

松村直樹 氏、石川純一 氏(株式会社リアセック)

#### (6)参加数

13名

### 3.7 平成28年度モジュールⅡのシラバス作成支援

#### (1)趣旨

第4クールの全学モジュール科目では主に「考える力」の向上をめざした授業を準備し、さらに効果的なアクティブラーニングを進めていくことになっている。しかし、具体的にどのような「考える力」をめざすのか、またそのために適切なアクティブラーニングの方法はどのようなものかなどについて十分な情報提供がないまま来ているため、以下の内容でモジュールⅡのシラバス作成支援を行った。

- ① モジュール方式の確認
- ② 第4クールでの変更点
- ③ 「考える力」に焦点をおく授業設計指針
- ④ 授業設計に役立つコンテンツ類(紹介)
- ⑤ シラバスの作成要領(とくに到達目標と成績評価について)
- ⑥ 質疑応答ほか

#### (2)対象

全学モジュール第4クール・モジュールⅡター

マ責任者および科目責任者

(3)日時

平成 27 年 10 月 21 日 (水) 12 : 50-14 : 20  
平成 27 年 10 月 27 日 (火) 12 : 50-14 : 20  
平成 27 年 10 月 29 日 (木) 10 : 30-12 : 00  
平成 27 年 11 月 2 日 (月) 12 : 50-14 : 20  
16 : 10-17 : 40

(4)場所

事務局第 5 会議室 (教育学部 2 階)  
坂本地区 病院会議室 B、会議室 A

(5)講師

山地弘起 教授(大学教育イノベーションセンター)、若菜啓孝 教授 (大学教育イノベーションセンター)、岡田大輔 助教 (大学教育イノベーションセンター)、北村 史 助教 (大学教育イノベーションセンター)

(6)参加数

25 名

(7)付記

当シラバス作成支援は、要点をまとめた動画コンテンツにより、参加できない教員の便に供した。

### 3.8 その他

上記の事業以外に、

①学長と「学生による教育改善のための協議会」  
代表者との意見交換会

平成 27 年 3 月 26 日 (木) 17 : 00 -18 : 30

②TA 研修

平成 27 年 3 月 30 日 (月) 14 : 30- 15 : 30

平成 27 年 9 月 16 日 (水) 14 : 00- 15 : 30

を実施した。

### 4. おわりに

本稿では、大学教育イノベーションセンターの教育改善部門が関わる 2 つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学 FD・SD」について、平成 27 年の実施概要を報告した。